



見る人が感動する射を――

村川春圭さん

弓道を始めたのは、高校の部活動からです。放った矢が的に当たるかどうかで勝敗が決まる、という分かりやすさが性に合ったのだと思います。大学でも弓道部に所属し、全国大会に出場するほどの仲間がたくさんいて、とても刺激を受けました。自分への自信のなさや負けたくないという気持ちが相まって、人一倍練習するようになりましたね。時間が空くと練習に行きたい気持ちが強くなり、講義と講義の合間や週末など、とにかく道場に行く毎日でした。練習量を自信に代えていたのだと思います。

今回出場した大会は、トップレベルの選手が多く出場しています。試合をしている姿を見ると、格が全然違うことが一目瞭然で、予選通過も難しいだろうと思っていました。100人を超える出場選手の中で、まさかの予選8位で通過し決勝に進めたことは、本当に運が良かったとしか言いようがありません。決勝戦では、今まで指導されたこ

とをきちんとやること、周りの強豪選手らと並んでも違和感のない振る舞いを心掛けることを意識しました。的中でたい気持ちが強すぎて結果を残せなかった過去の経験を思い出し、あとは流れに任せようという心境で戦ったところ、皇后杯という、国内では最高の賞を取ることが出来ました。

実は、岩手県の成年女子は2年連続で国体に出場できていません。成年男子が今年の国体の近的の部※で優勝したこともあり、負けたくないよう頑張りたいです。また、前年度の優勝者ということで、一年後の全国大会への出場権を得ています。皇后杯保持者の名に恥じないよう、これからも成長し続けたいです。

※的までの射距離が28種の種目



皇后杯を手に笑顔の村川さん

写真 de もりおか

市内で開催されたイベントや出来事を紹介します。紙面で紹介しきれなかった写真は、市公式ホームページの取材日記に掲載しています。



取材日記

9月28日

次の世代につなぐ植樹

市民植樹祭を外山森林公園(荻川字大の平)で開催しました。約200人の参加者はヤマツツジ600本とシラカバ80本を1本1本手作業で植樹。次の世代に元気で立派な森林を残すために汗を流しました。植樹した後は、大型重機による丸太の切断や、宙に吊り下げての運搬作業を見学するなど、盛岡の林業について学び、同公園で取れたキノコを使ったきのこ汁に舌鼓を打ちました。



10月5日

ラグビー日本代表に大歓声!

ラグビーワールドカップ2019™の試合を大画面で観戦できるパブリックビューイングが市内に設置され、この日は日本代表対サモア代表戦が三井のリパーク盛岡大通第2駐車場で行われました。大躍進を続ける日本代表を応援しようと、約650人が観戦。力強いサモア代表にチーム一丸となって立ち向かい、勝利を手にした日本代表のプレーに、観戦した人たちからは、大きな歓声が上がりました。



10/7~10/11

ナミビア代表が来盛!

本市が公認チームキャンプ地となって初めて、ラグビーワールドカップ2019™に出場したナミビア代表が来盛しました。選手たちは、連日の激戦続きで疲労した中でも、練習の合間に市内の子どもたちとの交流や、書道体験などに笑顔で参加。岩手女子高「書道ガールズ」たちに教わりながら、自分の名前などを漢字やカタカナで書いたりして、楽しそうに筆を動かしていました。



10/6~10/27

伝統を守り、伝統へ挑む

南部鉄器工場の若手職人による南部鉄器青年展が、もりおか歴史文化館(内丸)で開催されました。若手職人15人が、伝統技術に独自の感性を加えて作った鉄瓶や小皿、花瓶などの個性あふれる作品を展示。約400年の伝統をもつ南部鉄器の魅力を発信しました。名古屋市から観光で訪れていた三井直弥さん(72)は、「職人歴が数年でもこんな立派で美しいものが作れるとは」と驚いていました。



もりけんに挑戦(9ページに掲載)の答え
②中央通三丁目

広報もりおかへのご意見をお待ちしています
アンケート専用フォームから、特集や各記事への意見をお寄せください。あなたの意見が広報もりおかを育てます。



編集後記

ラグビー日本代表の活躍に大いに盛り上がっています。激しいプレーの後でも、ノーサイドの笛とともに健闘をたたえあう姿に感動しました。(鈴木)



地球環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しています。